



# 下大和田谷津田だより



2005年 11月号

## 第69回「下大和田谷津田の観察会とゴミ拾い」報告

10月2日 晴れ

今日は9月18日に刈ったコシヒカリの脱穀の日。脱穀の作業に着く人と観察会に回る人とは分かれて行動しました。稲のなくなった田んぼにはタニシやメダカが目立ちました。ミゾソバが咲き、オギやヨシの穂が風にたなびき、斜面林のクリははじけて実を落としていました。谷津田は秋の風情を濃くしていました。

**開花植物**：ヨモギ、カントウヨメナ、シロヨメナ、ヒメジョオン、ヒメムカシヨモギ、セイタカアワダチソウ、ダンドボロギク、コメナモミ、ハキダメギク、タカサブロウ、コセンダングサ、アメリカセンダングサ、オオオナモミ、タイアザミ、オニノゲシ、ミゾカクシ、オオバコ、キツネノマゴ、トキワハゼ、ハッカ、トウバナ、ヒメジソ、キバナアキギリ、ヤマハッカ、セリ、アカバナ、シロツメクサ、ナンテンハギ、ゲンノショウコ、オッタチカタバミ、スカシタゴボウ、タネツケバナ、アキカラマツ、ウシハコベ、ヨウシュヤマゴボウ、ヒナタイノコズチ、ヒカゲイノコズチ、ヤナギイノコズチ、ミズヒキ、ミゾソバ、アキノウナギツカミ、イヌタデ、クワクサ、カナムグラ、ヨツバムグラ、ヌカキビ、アシ、チカラシバ、シマズズメノヒエ、メヒシバ、イヌビエ、チジミザサ、オギ、ススキ、ジュズダマ、コナギ、ツククサ、イボクサ、ヤブミョウガ、オモダカ

**昆虫**：キチョウ、ヤマトシジミ、ウラギンシジミ、ヒカゲチョウ、シオカラトンボ、ノシメトンボ、マユタテアカネ、ナツアカネ、オオスズメバチ、クロウリハムシ、コバネイナゴ、オンブバッタ、オオカマキリ

**野鳥**：モズ、コゲラ、スズメ

**その他**：ナガコガネグモ、ジョロウグモ、ドヨウオニグモ、ニホンアカガエル、メダカ、マルタニシ、オオタニシ、カワニナ

(参加者：大人5人；報告：網代春男)

## 第53回谷津田プレート・プロジェクト(YPP)

### 「赤、緑、黒！古代米の稲刈り」

10月30日 曇り

明け方までの雨が上がり、晴れ間こそ見られなかったものの作業にはちょうどよい天候のもと古代米稲刈りをしました。古代米田んぼは泥深いので足をとられながらの稲刈りは大変な作業。刈った稲をプラスチックのコンテナにためて一杯になったら畦まで運びました。キラキラテープを張ったおかげで、今年はスズメに食べられることなく稲束はずしりとうれしい重みでした。緑米はきつかなりの収穫になると思います。赤米は背丈が高くなるので今年もこの時期になると倒れていました。苗代でカルガモにほとんどを食べられてしまった黒米は何とか種籾分だけを確認。

稲を刈っていると冬眠前で丸々と太ったアカガエルが飛び出してきたり、カヤネズミの巣が見つかったり、お腹の大きなカマキリが鎌をふり上げていたり様々な生きものに会います。中でも一番数が多いのはクモ。

よく見ると実にいろいろな種類のクモがいて、田んぼの生態系のすごさを実感しました。

コシヒカリの稲刈りに比べると人数が少なく、大変な作業でしたが、参加して下さった皆さんのおかげで無事、刈り終えることができました。ご協力有り難うございました。

コシヒカリは玄米で180kgの収穫がありました。11月13日の収穫祭で試食します。今回刈った緑米は年末恒例のモチつきで使います。どちらもお楽しみに！

(参加者：大人16名、小中学生5人、幼児1人、報告：高山邦明)

## 下大和田季節のたより

10月30日 ヒッ、ヒッ、ヒッとジョウビタキのさえずりを聞く。トンボの数が減り、オオアオイトトンボと羽がぼろぼろになったノシメトンボを見かけた程度(高山)

古代米の稲刈りが終わり、広々とした田んぼの水面が顔を出しました。冬鳥のジョウビタキが飛来し、アオジ、ツグミと続くのが楽しみです。今年もノスリが来てくれるでしょうか？これからはバードウォッチングに最適な季節になります。双眼鏡を手に静かな谷津をのんびり散策してみませんか？

高山邦明